

ハクゾウメディカル・アジア社が起工式を開催
WHA CIE 2の新工場建設用地で



日本に本拠を置く医療・衛生材料メーカーであるハクゾウメディカル・アジア株式会社が新工場の起工式を開催し、WHA インダストリアル・ディベロップメント社のラッダ・ロジャナウィライウッド営業担当副社長（中央左側）が出席しました。新工場はWHA CIE 2に建設されます。

WHAコーポレーション株式会社のジャリポン・ジャルコンサクン会長兼グループCEO（左から2人目）とチャットチャモン・アナタプラユーン氏（左端）がラマティボディ病院の薬学部長補佐を務めるボンチャイン・マロト准教授（中央）に500万バーツ（WHAグループから400万バーツ、Dr. Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツ）の寄付金を贈呈している。この贈呈式にはWHAコーポレーション株式会社のジャック・リット・チャイサニット最高執行責任者（右から2人目）とサムサク・ノンチヨイルアンチ最高財務責任者（右端）も出席。

WHAコーポレーション株式会社のジャリポン・ジャルコンサクン会長兼グループCEO（左から2人目）とチャットチャモン・アナタプラユーン氏（左端）がシリラート病院のコミュニケーション学部部長を務めるナリット・キットナロン准教授（中央）に500万バーツ（ジャリポン・ジャルコンサクン氏から400万バーツ、Dr. Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツ）の寄付金を贈呈している。この贈呈式にはWHAコーポレーション株式会社のジャック・リット・チャイサニット最高執行責任者（右から2人目）とサムサク・ノンチヨイルアンチ最高財務責任者（右端）も出席。

WHAコーポレーション株式会社のジャリポン・ジャルコンサクン会長兼グループCEO（左から2人目）とチャットチャモン・アナタプラユーン氏（左端）がシリラート病院のコミュニケーション学部部長を務めるナリット・キットナロン准教授（中央）に500万バーツ（ジャリポン・ジャルコンサクン氏から400万バーツ、Dr. Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツ）の寄付金を贈呈している。この贈呈式にはWHAコーポレーション株式会社のジャック・リット・チャイサニット最高執行責任者（右から2人目）とサムサク・ノンチヨイルアンチ最高財務責任者（右端）も出席。

WHAコーポレーション株式会社のジャリポン・ジャルコンサクン会長兼グループCEO（左から2人目）とチャットチャモン・アナタプラユーン氏（左端）がシリラート病院のコミュニケーション学部部長を務めるナリット・キットナロン准教授（中央）に500万バーツ（ジャリポン・ジャルコンサクン氏から400万バーツ、Dr. Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツ）の寄付金を贈呈している。この贈呈式にはWHAコーポレーション株式会社のジャック・リット・チャイサニット最高執行責任者（右から2人目）とサムサク・ノンチヨイルアンチ最高財務責任者（右端）も出席。

WHAコーポレーション株式会社のジャリポン・ジャルコンサクン会長兼グループCEO（左から2人目）とチャットチャモン・アナタプラユーン氏（左端）がシリラート病院のコミュニケーション学部部長を務めるナリット・キットナロン准教授（中央）に500万バーツ（ジャリポン・ジャルコンサクン氏から400万バーツ、Dr. Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツ）の寄付金を贈呈している。この贈呈式にはWHAコーポレーション株式会社のジャック・リット・チャイサニット最高執行責任者（右から2人目）とサムサク・ノンチヨイルアンチ最高財務責任者（右端）も出席。

WHAコーポレーション株式会社のジャリポン・ジャルコンサクン会長兼グループCEO（左から2人目）とチャットチャモン・アナタプラユーン氏（左端）がシリラート病院のコミュニケーション学部部長を務めるナリット・キットナロン准教授（中央）に500万バーツ（ジャリポン・ジャルコンサクン氏から400万バーツ、Dr. Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツ）の寄付金を贈呈している。この贈呈式にはWHAコーポレーション株式会社のジャック・リット・チャイサニット最高執行責任者（右から2人目）とサムサク・ノンチヨイルアンチ最高財務責任者（右端）も出席。



WHAコーポレーション株式会社のジャリポン・ジャルコンサクン会長兼グループCEO（左から2人目）とチャットチャモン・アナタプラユーン氏（左端）がシリラート病院のコミュニケーション学部部長を務めるナリット・キットナロン准教授（中央）に500万バーツ（ジャリポン・ジャルコンサクン氏から400万バーツ、Dr. Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツ）の寄付金を贈呈している。この贈呈式にはWHAコーポレーション株式会社のジャック・リット・チャイサニット最高執行責任者（右から2人目）とサムサク・ノンチヨイルアンチ最高財務責任者（右端）も出席。

WHAコーポレーション株式会社のジャリポン・ジャルコンサクン会長兼グループCEO（左から2人目）とチャットチャモン・アナタプラユーン氏（左端）がシリラート病院のコミュニケーション学部部長を務めるナリット・キットナロン准教授（中央）に500万バーツ（ジャリポン・ジャルコンサクン氏から400万バーツ、Dr. Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツ）の寄付金を贈呈している。この贈呈式にはWHAコーポレーション株式会社のジャック・リット・チャイサニット最高執行責任者（右から2人目）とサムサク・ノンチヨイルアンチ最高財務責任者（右端）も出席。

WHAコーポレーション株式会社のジャリポン・ジャルコンサクン会長兼グループCEO（左から2人目）とチャットチャモン・アナタプラユーン氏（左端）がシリラート病院のコミュニケーション学部部長を務めるナリット・キットナロン准教授（中央）に500万バーツ（ジャリポン・ジャルコンサクン氏から400万バーツ、Dr. Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツ）の寄付金を贈呈している。この贈呈式にはWHAコーポレーション株式会社のジャック・リット・チャイサニット最高執行責任者（右から2人目）とサムサク・ノンチヨイルアンチ最高財務責任者（右端）も出席。

WHAコーポレーション株式会社のジャリポン・ジャルコンサクン会長兼グループCEO（左から2人目）とチャットチャモン・アナタプラユーン氏（左端）がシリラート病院のコミュニケーション学部部長を務めるナリット・キットナロン准教授（中央）に500万バーツ（ジャリポン・ジャルコンサクン氏から400万バーツ、Dr. Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツ）の寄付金を贈呈している。この贈呈式にはWHAコーポレーション株式会社のジャック・リット・チャイサニット最高執行責任者（右から2人目）とサムサク・ノンチヨイルアンチ最高財務責任者（右端）も出席。

WHAコーポレーション株式会社のジャリポン・ジャルコンサクン会長兼グループCEO（左から2人目）とチャットチャモン・アナタプラユーン氏（左端）がシリラート病院のコミュニケーション学部部長を務めるナリット・キットナロン准教授（中央）に500万バーツ（ジャリポン・ジャルコンサクン氏から400万バーツ、Dr. Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツ）の寄付金を贈呈している。この贈呈式にはWHAコーポレーション株式会社のジャック・リット・チャイサニット最高執行責任者（右から2人目）とサムサク・ノンチヨイルアンチ最高財務責任者（右端）も出席。

WHAコーポレーション株式会社のジャリポン・ジャルコンサクン会長兼グループCEO（左から2人目）とチャットチャモン・アナタプラユーン氏（左端）がシリラート病院のコミュニケーション学部部長を務めるナリット・キットナロン准教授（中央）に500万バーツ（ジャリポン・ジャルコンサクン氏から400万バーツ、Dr. Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツ）の寄付金を贈呈している。この贈呈式にはWHAコーポレーション株式会社のジャック・リット・チャイサニット最高執行責任者（右から2人目）とサムサク・ノンチヨイルアンチ最高財務責任者（右端）も出席。

WHAグループ、WHA会長とDr.Somyos Anantaprayoon財団がCOVID-19対策のために1,000万バーツを寄付

WHAグループは先日COVID-19危機により最も深刻な影響を受けている人々を支援するためにシリラート病院とラマティボディ病院に対し1,000万バーツの寄付を行いました。最も大きな影響を受けているのは命を救うために1日24時間休むことなく働いている医療従事者などです。

シリラート病院の薬学部に対しては2件の寄付が行われました。COVID-19の患者を治療するために必要性が高まっている医療用品の購入に充てるべくジャリポン・ジャルコンサクン氏から400万バーツ、Dr.Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツがシリラート・スー・パイCovid基金に贈られました。

また、ラマティボディ病院の薬学部とラマティボディ財団にも2件の寄付金が贈呈されました。重症な呼吸器症状の患者を助けるためにWHAグループからの寄付金400万バーツとDr.Somyos Anantaprayoon 財団からの寄付金100万バーツが人工呼吸器とECMO機器の購入に用いられます。

WHAコーポレーション株式会社のジャリポン・ジャルコンサクン会長兼グループCEO（左から2人目）とチャットチャモン・アナタプラユーン氏（左端）がシリラート病院のコミュニケーション学部部長を務めるナリット・キットナロン准教授（中央）に500万バーツ（ジャリポン・ジャルコンサクン氏から400万バーツ、Dr. Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツ）の寄付金を贈呈している。この贈呈式にはWHAコーポレーション株式会社のジャック・リット・チャイサニット最高執行責任者（右から2人目）とサムサク・ノンチヨイルアンチ最高財務責任者（右端）も出席。

WHAがCOVID-19の患者を治療する医師と看護師を支援するために「CU-RoboCovid」の資金を援助

WHAグループは先日チュラーロンコン大学工学部が製作した2台の「CU-RoboCovid」の資金援助を行いました。「Pin-to」と呼ばれるこれらのロボットはCOVID-19の症例を診断して治療する医師と看護師を支援すると同時に、感染のリスクを低減するためにタイ全国の病院で使用されます。



Pin-toはテレプレゼンスシステムを備えており、離れた場所から通信が可能で、医療従事者と患者とのやり取りを最小限に抑えることができます。この取り組みは現在の危機的状況下で他者を救うために自分の命の危険を冒して医療の最前線に働く人々に全面的な支援の手を差し伸べたいというWHAグループの希望を具体化したものです。

WHAグループは先日チュラーロンコン大学工学部が製作した2台の「CU-RoboCovid」の資金援助を行いました。「Pin-to」と呼ばれるこれらのロボットはCOVID-19の症例を診断して治療する医師と看護師を支援すると同時に、感染のリスクを低減するためにタイ全国の病院で使用されます。

WHAコーポレーション株式会社のジャリポン・ジャルコンサクン会長兼グループCEO（左から2人目）とチャットチャモン・アナタプラユーン氏（左端）がシリラート病院のコミュニケーション学部部長を務めるナリット・キットナロン准教授（中央）に500万バーツ（ジャリポン・ジャルコンサクン氏から400万バーツ、Dr. Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツ）の寄付金を贈呈している。この贈呈式にはWHAコーポレーション株式会社のジャック・リット・チャイサニット最高執行責任者（右から2人目）とサムサク・ノンチヨイルアンチ最高財務責任者（右端）も出席。

WHAUP、3億バーツを水プロジェクトへ追加投資
東部経済回廊（EEC）域内の干ばつ問題解消を目指し、将来的な収益増を見込む

WHAユニティリティ&パワーPLC（WHAUP）はイースタン工業団地（マプタプット）とイースタン・シーボード工業団地（ESIE）（ラヨン）の再生水プロジェクトに3億バーツの追加投資を行ない、総合的なユニティリティサービス提供の可能性を提示しました。同プロジェクトでは廃水を工業用水へと転換することにより、東部経済回廊（EEC）域内の干ばつによる水不足問題を解消し、WHAグループの産業投資家としての可能性と信頼を高めることとなります。

WHAUP最高経営責任者Ziphon Bundechanan氏は「大手ユニティリティ事業主としてWHAUPは干ばつ危機問題を受けて水不足に悩むWHAグループの工業団地内の企業に向けて確固たる対策を打ち立てています。問題解決に向けて様々なプロジェクトに投資すると同時に、スタッフの専門能力も磨いています」と述べています。

まずは1日の再生水生産能力を15,000m<sup>3</sup>に上げます。イースタン工業団地（マプタプット）では2019年の1日あたり10,000m<sup>3</sup>であった再生水生産能力を1日25,000m<sup>3</sup>に引き上げ、当プロジェクトへの必要投資額は2億バーツで、工期は2020年第4四半期に終了予定です。完成に先立ち、2020年第3四半期から1日5,000m<sup>3</sup>の配水を開始する予定です。

再生水を利用することにより、原水の確保を可能にし、さらには干ばつ問題の解決へと結びついていきます。再生水は脱塩水・高品質工業用水へと転換していくことが可能です。脱塩水は通常の工業用水と比較して40〜60%以上の付加価値があり、WHAグループの工業団地内の企業は、この投資に対する経済的負担もユニティリティ

WHAコーポレーション株式会社のジャリポン・ジャルコンサクン会長兼グループCEO（左から2人目）とチャットチャモン・アナタプラユーン氏（左端）がシリラート病院のコミュニケーション学部部長を務めるナリット・キットナロン准教授（中央）に500万バーツ（ジャリポン・ジャルコンサクン氏から400万バーツ、Dr. Somyos Anantaprayoon 財団から100万バーツ）の寄付金を贈呈している。この贈呈式にはWHAコーポレーション株式会社のジャック・リット・チャイサニット最高執行責任者（右から2人目）とサムサク・ノンチヨイルアンチ最高財務責任者（右端）も出席。

WHA Infonite社とJasTel社、データセンター契約を締結

流通・工業団地運営大手WHAグループ子会社のWHA Infonite Company Limitedは電気通信ネットワーク、サービス、インターネットプロバイダーであるJasTel Network Company Limited（JasTel）とデータセンター契約を締結しました。JasTel社は通信企業で地方の固定電話回線、無線ネットワーク、デジタルネットワークおよびインターネット接続サービスなどの通信事業を展開するJasmine International Pcl（JAS）の子会社です。

WHA Infonite社とJasTel社は長くビジネスパートナーとして良好な関係を築いてきました。今回の契約でJasTel社はWHA Infonite社のPremium Data Centers (Tier III) のシステム・ネットワークとコロナケーションを利用し、増え続ける利用者へのサービスに対応していきます。サービスは6月より開始されます。

WHA Infonite社とJasTel社は長くビジネスパートナーとして良好な関係を築いてきました。今回の契約でJasTel社はWHA Infonite社のPremium Data Centers (Tier III) のシステム・ネットワークとコロナケーションを利用し、増え続ける利用者へのサービスに対応していきます。サービスは6月より開始されます。



WHA Infonite社とJasTel社は長くビジネスパートナーとして良好な関係を築いてきました。今回の契約でJasTel社はWHA Infonite社のPremium Data Centers (Tier III) のシステム・ネットワークとコロナケーションを利用し、増え続ける利用者へのサービスに対応していきます。サービスは6月より開始されます。



# WHA GROUPで更なる飛躍を目指す企業

WHAチョンブリ工業団地2にタイ工場を建設  
2021年に操業開始予定。海外生産の拠点に  
**Hakuzo Medical Asia Co., Ltd.**  
医療品・衛生材料の製造販売



Managing Director  
佐々木光一郎氏

1953年に大阪で創業したハクゾウメディカルは、医薬品及び衛生材料の製造販売企業です。治療用のガーゼや包帯の生産から始まった事業は順次対象を拡大し、今では感染症対策製品から介護・看護用品に至るまで幅広い分野に渡っています。

社名の「白象（ハクゾウ）」は中国のことわざにある「三獣渡河」から来ています。兎（ウサギ）、馬、象の三獣が川を渡る様子を人の世に例えたもので、川底にしっかりと足を付けて歩く象の姿を、一時の流行等に惑わされることなく着実に社業に励むべしとする社是に重ね合わせました。

海外展開はシンガポールから始まりました。現地駐在員事務所を置き市場の把握に努めてきましたが、将来的な海外生産拠点の確保や今後の世界消費の拡大を考えた時、ベストな立地はアセアンのハブに位置するタイであると判断。2017年5月にバンコクに現地駐在員事務所を開設、以後当地を拠点とすることにしました。

タイ進出後は直ちに、現地生産化に向けた工場の建設用地選定に乗り出しました。タイ国内約10カ所の工業団地等を視察。昨年10月にはWHAチョンブリ工業団地2に決定し、20年4月からは建屋の建設を始めます。21年の生産開始を目指しています。

この間、19年1月には現地駐在員事務所を昇格させ、100%独資とした当社タイ現地法人も設立しました。工場を置くWHAチョンブリ工業団地2がタイ工業団地公社（IEAT）の認定工業団地であることから、タイ投資委員会（BOI）の認可を改めて必要としなかった点も、事業計画がスムーズに進む要因となりました。

初の海外生産拠点となるタイ工場では、病院などの医療機関向けに絆創膏や消毒剤、人工透析キット、脳外科手術用シートなどを生産していく計画です。当面はタイ国内向けの出荷が多くなると見込まれますが、日本やアセアン、台湾などへの輸出も徐々に拡大し、将来的には輸出拠点としても育てていく方針です。

原材料は、現時点においても全体の7割はタイ国内での調達が可能です。残りの一部については当面日本から輸入をしていく計画ですが、いずれも将来的には現地調達に切り替えていくことを目標としています。安価に生産できるという利点を最大限に活かして、タイ国内生産を進めてまいります。

工場の敷地面積9ライ（1ライ＝1600平方メートル）のうち、現在建設を進めている第1期工事は3ライ程度を占めるに過ぎません。消費や輸出の動向を見据えながら生産品目も順次拡大し、将来的には2号棟や3号棟の建設にも取り組んでいくと考えています。

昨今の健康志向の高まりや今



般の新型コロナウイルス等の経験から、タイをはじめアジアの人々の公衆衛生にかかる意識も向上していくものと予想されます。同時に生活習慣の変化から来る糖尿病などの疾患も増加が見込まれています。安価なコストで製造ができる現地生産はこうしたニーズにも確実に対応していくものと考えています。

WHAチョンブリ工業団地2はバンコクから車で1時間半ほどと地理的にも至便な距離にあり、洪水などの心配もありません。東部チョンブリ県には工場等での勤務体験がある経験豊富なワーカーも数多く存在します。こうした情報を真っ先に寄せてくれたのがWHA社のスタッフの方々でした。当初は10〜20人規模での操業開始を目指します。

WHA社の皆さんは知識や経験も豊富で、アドバイスの確、そしてフレンドリーです。疑問に対するレスポンスも早く、顧客がどのようなことに困っているのかについても熟知しています。いただいた情報を総合的に判断し、最善の結果を出すことができたと感じています。

## 新型コロナウイルスとの戦いで役割を担う WHAインダストリアルゾーン1-ゲアン（ベトナム）

ベトナム北中部ゲアン省では9000人に対し厳格な隔離プログラムを実施、現在のところ新規感染者は出ていない模様で、当プログラムが有効で、新型コロナウイルスの封じ込めに成功したと思われま

ゲアン省ギーロック地区人民委員会のNguyen Tien Dung氏（写真左から2人目）

外からの帰国者、もしくは院内感染を起したバクマイ病院や感染者の非常に多いとされるホーチミン、ハノイ、ハティンといった都市から戻った人々です。現在、ギーロック地区では第2波に備えて約300人を隔離できる施設を準備中です」と話しています。

4月半ばギーロック地区人民委員会の代表団はWHAインダストリアルゾーン1-ゲアンより寄付金を受け取りました。寄付金はギーロック地区の隔離エリアの修繕や必要備品の調達などに充てられる予定です。

Nguyen Thi Lien氏によれば、「WHAインダストリアルゾーン1-ゲアンからの寄付金を新型コロナウイルスから地元コミュニティを守るために役立ててもらいたい」とのこと。「寄付金5000ドルはギーロック地区の隔離センターの必需品購入などにあって、さらには社会保障、人々の安全、健康を守ることに尽力し、新型コロナウイルスの流行拡大を阻止するために、近隣地区や地方のローカルリソースを強化していきたい」とも述べています。

今後新型コロナウイルスの感染状況を注意深くモニターし、孤立している地域で感染の広がりを抑えるため職務に従事している人々を支援し、間接的に新型コロナウイルスの影響を受けている人々も含めてサポートしていく方針です。



経済的支援を受け取るギーロック地区人民委員会委員長Nguyen Tien Dung氏（写真左から2人目）



WHAインダストリアルゾーン1-ゲアン ジェネラル・ディレクターのNguyen Thi Lien氏（写真右）と寄付を受け取るHoang Van Cuong ギーロック地区祖国戦線委員会副委員長（同左）

## WHAの「パン・ガン」オンラインマーケットが EEC地域の小規模企業家にビジネス機会を提供

WHAグループは先日チョンブリ県とラヨン県にある9カ所のWHA工業団地周辺に住む人々が手作りした製品や自家製特産品の紹介と販売を行うために「パン・ガン」オンライン・マーケットプレイスを開設しました。

この新しいウェブサイトを（pangan.wha-industrialstate.com/en/home）は手作りの工芸品や伝統薬から地元産の食品、ホームメイドの調味料まで様々なカテゴリーの製品を豊富に取り揃えて提供することにより販売者と買物客を結び付けることを目的としています。WHAグループの主導によるこのプロジェクトはEECの「新都市・地域社会開発計画」の支援を目指しています。

この取り組みでは極小規模の企業家、食品生産者、小規模家内工業オーナーや主婦が各自の製品を幅広い市場で宣伝、販売できるような幅広く参加を呼び掛けて好評を博しています。WHAグループの「企業の社会的責任」プログラムでは雇用創出と地域経済開発の促進に力を入れています。「パン・ガン」の開設は多数の世帯が新たな収入源や副収入を得て生活水準を高め、若者のためにより豊かな未来を構築する機会となります。

また、地域社会の伝統遺産を守り、様々な町や村の工芸品や特産品の生産技術を継承する手段にもなります。このプログラムでは地域の伝統に基づいた価値創造、農産品と天然材料の活用および次世代への技術継承に重点が置かれています。

WHAコーポレーション株式会社のシヤバス・チャンタチャイロート法人マーケティング部長は次のように述べています。「簡素でありながら魅力的なマーケットプレイスを活発なコミュニティに提供できることをうれしく思います。このプラットフォームはアクセスが容易で使いやすいため、カテゴリー別に簡単に閲覧して直接購入でき、EECにあるWHAの工業団地周辺に住む人々に大きなメリットをもたらします。」

「WHAパン・ガンは私たちが近隣のコミュニティに支援の手を差し伸べて持続可能な生活を奨励し、社会に貢献するためのプロジェクトの1つです。自立することの大切さや人々が学ばば、そのための力を得ることも可能になります。」

EECの地域社会の自立を支援するために、

https://pangan.wha-industrialstate.com/en/home にアクセスして人々の創造性、資質と努力の成果をご覧ください。「パン・ガン」での製品販売に関心をお持ちの方は marketing@wha-group.com までご連絡ください。

WHA PAN GAN

- 7 Industrial Estates Rayong and Chaburi
- 52 Shops Nearby WHA IZ
- 120+ Products Snack, Beverage, Games, Miscellaneous, etc.

WHA PAN GAN WHA GROUP'S Corporate Social Responsibility Initiative, is an online marketplace to help promote unique, locally made products from community artisans and entrepreneurs around WHA Industrial Estates.

# WHA GROUP ニュースダイジェスト

## CSR

### WHAグループ、工業団地近隣住民コミュニティを支えるCRSプログラムを実施

WHAグループでは長期間に渡り、工業団地周辺に点在する住民コミュニティを支援し、住民の健康を見守っています。様々な異なる世代の人々に合った確かな支援策を講じ、生活水準を向上させる取り組みを続けています。

2020年1月から3月にかけて実施された数多くの社会福祉活動は、教育、環境、コミュニティの3つを中心に行われました。



#### ■より良き明日を目指して

WHAグループは若者の未来を変える力を持っています。資金を集め、分配し、学校設備の改修、新しい教材や学校の備品購入に役立てることで、子どもたちにふさわしい学びの環境が与えられると願っています。書籍、学用品、知育玩具といった形の寄付は、教育する側の教育ニーズを満たし、生徒が基本的なスキルを向上させ、社会とのつながり、学ぶことの楽しさなどを学習していく助けとなります。

ラヨーン県とチョンブリー県の小学校では今年初めに学校周辺の環境を整備するための基金を受け取りました。就職時に役立つ必要スキルを習得するためコンピューターも支給されました。またさらに子どもたちが積極的にスポーツや野外活動にも参加し、心身の健康を維持できるよう寄付も行ないました。



チョンブリー県Ban Chalermplak校の校舎とグラウンドの改修工事を支援

#### ■健康は財産

WHAグループでは公衆衛生サービスといったコミュニティプロジェクトへの支援も行なっています。異なる工業団地からのメンバーが保健所へ出向き、保健当局と意見交換をし、医療物資を届け、経済的支援を行ないました。



子どもたちの心身の健康づくりのため、ラヨーン県のChumchonburisatnamtawanaok校へ届けられたペットボトル入りの飲料水

WHAグループにとってこれらの社会福祉活動は長期的に大変意義のある活動です。WHA インダストリアル・ディベロップメントPCL コーポレート・マーケティング部のSiyaphas Chantachairoj 部長は「現在私たちの暮らすコミュニティが持続可能な成長を続けていくためにもWHAグループは有意義な貢献を続けていくことに全力を尽くします。」

私たちの活動の多くは、私たちWHAグループの従業員だけが関わっている訳ではありません。私たちの顧客やサプライヤー、株主も、皆一緒に貢献し、延いては私たちの身近にあるコミュニティから建設的で前向きな変化を得られることになるのです」と述べています。今後さらに環境保護活動を含めたさまざまなCRS活動が実施される予定です。顧客向けの廃水管理や水処理事業は貴重な自然資源を守っていく上で最も重要な課題であり、かつコミュニティでの共通認識を深めていかなければなりません。WHAグループでは今後もCRS活動を通して、次世代のためにコミュニティの自然環境、財政、社会の幸福に関与し主体的に守っていくことをお約束します。

### WHAグループがコミュニティを支援するためにN95マスクをバタヤ市当局に寄贈

WHAグループは先日COVID-19パンデミックの最前線で闘う人々を支援するためにチョンブリー県の保健行政当局と病院にN95マスクを寄贈しました。この寄贈はEECコミュニティの医療関係者や緊急救援隊員などを対象としたものです。



### WHAグループ、医療機器購入資金をプリアックデーデン病院へ寄付

WHAインダストリアル・ディベロップメントPCLを代表してコーポレート・マーケティング部のSiyaphas Chantachairoj(写真左から5番目)部長がプリアックデーデン病院へ210,380パーツを寄付しました。寄付金はチャリティイベントの一貫で開催されたプリアックデーデン・ハーフ・マラソンにて手渡されました。寄付金はWHAインベスターズ・クラブ・ミーティング及びWHAグループ主催のチャリティーゴルフ大会2019で集められたもので、医療機器の購入資金として、近隣住民の健康維持や治療費用として役立てられる予定です。



### COVID-19危機で物資不足に悩む病院にWHAグループが医療用品を寄贈

WHAグループは先日COVID-19により引き起こされた危機に際してタイの医療部門を支援するために医療用品の寄贈を行いました。弊社は全国各地の病院に配布される個人用保護具(PPE)スーツ1,000着をラマティポディ病院に届けました。また、COVID-19パンデミックの最前線で闘う人々を支援するためにラヨーン、チョンブリー、チャンタブリ各県の様々な保健行政当局と病院に5,000枚を超えるN95マスクを寄贈しました。この寄贈は全国の医療関係者や緊急救援隊員などを対象としたものです。WHAの経営陣は様々な組織や病院を訪れ、需要が高まっている医療用品を配布しました。この社会貢献活動は医療関係者の保護におけるWHAグループの積極的な役割と、コミュニティに有意義な影響をもたらす努力を再確認するものとなりました。



### WHAグループ、カオ・チョンブリー・ワイルドライフ・サンクチュアリー植樹イベントをサポート

WHAグループはチョンブリー県のカオ・チョンブリー・ワイルドライフ・サンクチュアリー植樹イベントを支援するための資金提供を行ないました。森林保護地区の再生を目的としたこの植樹イベントは、次世代のために緑豊かな、サステナブルな社会を築くことを企業理念のひとつにあげているWHAグループの企業活動と同調するものです。WHAインダストリアル・ディベロップメントPLCのSunya Baopoonthong総務部長(写真中央右)がWHAグループを代表して寄付を手渡しました。



### WHAグループ、ラヨーン県のプリアックデーデン病院へN95マスクを寄贈

新型コロナウイルスと闘う医療従事者支援のため、WHAグループはこのほどラヨーン県のプリアックデーデン病院へN95マスクを寄贈しました。WHAグループは新型コロナウイルス発生当初から、医療現場の最前線で働く医療従事者を全面的に支援しています。N95マスクを受け渡すWHAインダストリアル・ディベロップメントPLCのSunya Baopoonthong総務部長(写真前列中央左)とプリアックデーデン病院のWaratta Malanon局長代理(写真前列中央右)がWHAグループを代表して寄付を手渡しました。



### WHA EIEがラヨーン県の医療センターにインフルエンザ・ワクチンを提供

WHAイスタン工業団地(マプタット)のラチャキット・クラブロム工業団地運営担当シニア・サイト・マネージャー(右から4人目)に率いられたチームは先日ラヨーン県にあるバン・バコン医療センターを訪れ、インフルエンザ予防接種キットを提供しました。同医療センターのソムボン・ブライクラシン所長(中央)が予防接種キットを受領し、コミュニティで最も脆弱な住民を保護すべく雨季の到来前に接種が行われます。



### WHAIDがバンサデット寺院の新講堂建設プロジェクトに資金を提供

WHAインダストリアル・ディベロップメント社の代表者は先日チョンブリー県シラチャ地区にあるバンサデット寺院を訪れ、同寺院で建設が進められている説法講堂のための支援金を贈呈しました。この講堂は仏教儀式や典礼のほか、シラチャ地区住民の慈善活動に利用されます。今回の資金提供はコミュニティの一員として社会に利益還元を行うためのWHAの取り組みの一環です。



Premium Office  
next to MEGA Bangna

Gateway to the EEC

completion by end 2020  
02-719-9555  
www.wha-logistics.com  
marketing@wha-group.com

JLL  
Sole Agent

